

## 針供養 4月29日に水主神社・衣縫神社で

水主神社は天照御魂神（あまてらすみたまのかみ）はじめ十座を祀る旧水主村の産土神として知られています。この社に合祀されているのが衣縫神社。ご祭神の大縫命と小縫命は水主神社の御祭神の柱の一つである天香語山神（あめのかごやまのかみ）の子孫と言われ糸縫針の職に就いて衣縫の氏をあたえられたとされています。このことから「衣縫の祖神」「衣縫大神」として古くから尊崇されていました。毎年4月29日には衣縫例大祭が行われ、日本和装士会の方々をはじめ裁縫関係者が参集され「古針や折れ針を供養し裁縫の上達」を祈願されています。

今年も29日の午前10時半ごろから京都や東京など各地から集まってこられた和装士会の方々や水主自治会、水主神社氏子総代の方々など約30名が参列していました。本殿前の左右に1.5mはありそうな2本の針が立てかけられています、昨年コスプレのエナコさんが奉納された大縫・小縫の巨針です。今年も銀色の光を放っていました。

11時45分頃には針の碑（針塚 昭和53年4月に村田進氏より奉納）の前に「古針や折れ針」を突き刺したコンニャクを水田清史宮司が捧げ持ち、祝詞をとえ和装士会会長が榊を捧げました。最後に宮司が針塚に針を納めて参加された皆さんが裁縫



水主神社の衣縫例大祭

の上達を祈願していました。

12時に終了し、これまでであれば社務所で休憩となるのですが、今年は水主集会所で懇談されておられました。

水主神社は昨年からの社務所の修理と本殿周りの樹木を強風で倒れるかも知れないとのことで少し伐採されています。また、そのために重機を入れる必要もあり、瑞垣の周りに砂利道や駐車スペースが造られています。



針供養、左は和装無形文化財の小見外次郎翁の胸像

杉浦 記

針供養 4月29日に水主神社・衣縫神社で／ 懐かしの？砂糖木箱／和訶羅河300号に／ お詫びと訂正／ 当帰のにつ帰／ 寄贈書籍の紹介／ 会の活動・短信／ 総会の記念講演、15日号広報に掲載／ 城陽市歴史民俗資料館「古墳へ行こう！2026+発掘調査速報展」～6月21日／ 京都歴史館 京都府の文化財 令和7年度府指定・登録・暫定登録文化財 / 6月6日の総会案内・小西氏記念講演／ 役員会からのお知らせ／ 他